



2020年11月13日

各位

会社名 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 兼グループCEO 小野 有理
 (コード番号 6699 東証第一部)
 問合せ先 常務執行役員 CFO 徳原 英真
 (TEL 06-6302-8211)

2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異 及び2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年7月6日に公表いたしました2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2020年7月6日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異

(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 27,700	百万円 △1,100	百万円 △1,200	百万円 △2,100	円 銭 △307.07
実績値 (B)	30,260	△287	△376	△1,553	△227.11
増減額 (B-A)	2,560	812	823	546	
増減率 (%)	9.2	—	—	—	

2. 2021年3月期通期連結業績予想の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 62,700	百万円 △200	百万円 △400	百万円 △1,600	円 銭 △233.96
今回修正予想 (B)	66,500	330	80	△1,370	△200.35
増減額 (B-A)	3,800	530	480	230	
増減率 (%)	6.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	71,012	511	143	△1,776	△340.43

3. 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関する理由

当第2四半期連結累計期間においては、エネルギーソリューション事業の販売が好調に推移したことに加えて、自動車機器事業についても新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により影響を受け落ち込んだ需要が想定以上のペースで回復した結果、売上高は予想数値を上回りました。営業利益、経常利益についても売上高増加の影響に加えて、コロナ禍での事業活動が制約されたことによる支出の減少、及び継続的な経費節減活動の成果により予想数値を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、感染症関連損失を計上した影響や希望退職者の増加に伴い特別退職一時金が増加した影響はあったものの予想数値を上回ることとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間のエネルギーソリューション事業の業績が予想数値を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念も強まっており、依然経営環境の不透明感が強いことから、下期業績予想を保守的に見直した上で、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上